



# の み が わ

2006年7月14日発行(通算第42号)

連絡先 〒146 0085 大田区久が原4-19-24

発行 大坪庄吾方 呑川の会

呑川の会 e-mail nomigawa@r00.itscom.net

呑川の会 HP <http://homepage3.nifty.com/nomi/>

高橋会員 HP <http://homepage2.nifty.com/aoiyume/>



## 2006年度総会を終えて

### 呑川再生への期待を込めて

#### 呑川の会代表 大坪庄吾

6月24日、午後2時から蒲田小学校の会議室をお借りして2006年度の総会が行なわれ、活動報告、会計報告を承認し、今年度の活動計画について話し合いをし、今後の日程を見て可能な範囲で変更することも了承されました。昨年度から定着してきた世話人による会活動の分担や会員の皆さんのさまざまな協力により、多忙ではありましたが実り多い一年を終え、今年度も7月23日からの大田区社会教育課との連携による「呑川・親子ウォーキング」講座をかわきりに活動が開始されます。

くわしくは活動報告や年間計画を見ていただくとして、1997年、呑川の会結成以来の積み上げが活かされた活動が今年度も行なわれます。私たち呑川の会は、関心を持ったものだけの狭い範囲での同好会ではなく、常に開かれた姿勢で臨んできたことが今日の呑川の会を作ってきました。今年度は、秋以降に東京都河川局から「呑川整備計画」が出されようとしています。呑川の未改修区間の再生について4年前から調査をしてきました。その調査をもとにして昨年度は呑川の会としての提言をまとめています。この提言を活かすためには呑川の会だけでなく大田区、流域の自治会や関係団体との連携がかかせません。総会には呑川の水質浄化を求めて活動していた南部環境委員会(生協活動の一部として区民で作った団体)の方がオブザーバーとして参加してくださいました。呑川について多様な活動をしている方々との交流も始まろうとしています。

また、雪谷小学校の子どもを案内する活動にみられるように、未来の呑川を支えていく子どもや区民とのつながりも重視していくことも確認されました。活動の大切な柱でもあるウォーキングは、他の都市河川を歩き(今年は野川をとりあげます)呑川と比べながら学び、また楽しむ催しです。年間計画を見て、今から予定表に入れておいてください。会を支えているのは会員ひとりひとりの小さな力の結集です。それぞれが自分の仕事を持ちながら、できることで活動に参加することが求められています。会活動の大切な軸はニュースの発行です。このニュースは会員以外の多くの方々に読まれています。原則として私たちの企画するなどの行事にも会員以外の方も参加できます。私自身も他のいくつかの会にかかわっているため、参加できない場合もありますが極力努力するつもりです。

呑川再生の機会を活かすことを今年の重点として、歩み始めましょう！

区民による連携講座

呑川・親子ウォーキングのお知らせ

\* 日時：7月23日(日)と8月27日(日)の午前9時半～午後3時(小雨決行！)

\* 集合：大井町線緑ヶ丘改札口と池上線池上駅改札口

両日とも午前中は、呑川の会会員の案内で呑川の上流から下流に向かって歩き（ウォーキング）、7月23日は雪谷文化センターで、また8月27日は大田区役所で昼食の後スライドによる説明と自由討議などを予定しています。

\*持ち物：昼食弁当 飲み物 帽子 筆記用具 歩きやすい格好（靴、ウェアとリュックサック）

\*詳しくは、呑川沿いの小学校や図書館、文化センターに置いてあるチラシをご覧ください

## 2006年度会総会が開催されました

6月24日土曜日、14時から蒲田小学校会議室にて2006年度の総会が開催され、予定されていた議案はすべて議了され、無事終了しました。

### 議事次第

1. 挨拶 兼 議事進行 . . . . . 大坪代表
2. 2005年度 活動報告 . . . . . 福井事務局長
3. 2005年度 会計報告 . . . . . 高橋会計担当
4. 2005年度 会計監査報告 . . . . . 白石会計監査
5. 2006年度 世話人の選出 . . . . . 議長
6. 2006年度 活動計画 . . . . . 福井事務局長

重要事項である未改修区間の河川改修整備計画への対応や呑川自主講座の内容や具体的推進方法についても討議されましたが、今後も引き続き協議を進めていくこととしました。

### 2005年度 活動報告(2005.7~2006.6)

#### ★ ウォーキング★

1. 呑川源流探査：桜新町付近水源地の探査 参加者13名 10月22日(土)
2. ニケ領用水：溝口から宿河原 参加者12名 11月19日(土)
3. 呑川樹木観察：1月28日(土)、2月18日(土)、3月21日(祭) 延べ人数40名以上
4. お花見神田川中流：高田馬場から江戸川橋まで 参加者7名 4月8日(土)

#### ★調査・学習★

1. 呑川の植物調査：工大橋から河口まで呑川沿いにある樹木を調査しました。  
(この後、「呑川樹木マップ」原稿の作成に進み、完成後皆様に印刷して提供する計画です。)
2. 呑川未改修区間の改修プラン：現在、鉄くいななどで仮の土留めをしている部分、よって川床は、コンクリートでなく「土」となっている部分の改良改修河川工事計画について、呑川の会として要望事項を取りまとめ具体的な「案」を東京都建設局河川部等に提出しました。  
(今年は、その実現に向かって運動します。)
3. 野鳥勉強会：積年の宿願である野鳥勉強会を実施いたしました。  
東京港野鳥公園 参加者10名 06年5月21日(日)  
内容については、この号の高橋さん執筆の記事をご一読ください。

#### ★社会教育課主催 大田区区民大学環境セミナーに協力★

毎年開催される大田区民大学環境セミナーに講師を派遣し「大田の水辺」6テーマのうち「呑川でがんばる生きものたち」を担当し好評裏に終了しました。9月29日(木)。  
これを機会に入会された方がいらっしゃいました。

#### ★子ども達やその他呑み川地域に対する働きかけ★

1. 呑川親子ウォーキング：大田区社会教育課と連携し、8月20日(土)と21日(日)の両日にわたって開催しました。初めての試みでしたので反省材料もいくつかありました。(今年度は、その反省を踏まえて開催日を前記のように7月23日と8月27日に設定しました。また上流域と中流域に分けて実施す

ることとしました。)

2.都立つばさ総合高校環境サミット参加 11月20日(日):はじめて、高校生対象の催しに参加しました。

3.エコフェスタワンダーランドへの展示参加 06年2月11日(日):今年の会場は洗足池小学校でした。呑川の春の「桜」を中心とする美しい写真パネルをつくり展示しました。

4.総合学習への協力 呑川観察ウォーク 雪谷小学校 4年生 06年5月30日(火):この件は、後の記事をご一読ください。

5.雪谷小学校に呑川の樹木展示 06年6月9日(金):洗足池小学校エコフェスタワンダーランドで出展した写真パネルを展示し、小学生4年生を対象に広報活動に役立てました。

#### ★行政機関への陳情や意見交換等★

前記のとおり呑川未改修区間の「河川改良改修基本計画策定」が東京都建設局河川倍計画課を中心に進んでいます。そこで、建設局河川部、第二建設事務所に出向き先方の計画を聞き出すと同時にこちらの要望を積極的にPRし予算の都合もあるが出来るだけ我々の案を取り入れてもらえるよう働きかけました。その他、呑川の水質、特に降雨時の越流水による汚濁・汚染について東京都下水道局、環境局に出向き、実態をヒヤリングしました。

大田区まちづくり課、環境保全課、生活衛生課等にも出向き未改修区間の改良・改修計画についてわれわれの「案」を説明し、協力を要請しました。

#### ★ 会員へのアンケート実施★

昨年の12月12日までを回収期間として、呑川の未来像、会の活動等についてアンケートを実施させていただきました。皆様のご協力、有難う御座いました。その結果は、出来るだけ、会の活動に反映させてゆきたいと考えております。

★会報の発行★ 世話人が持ち回りで年4回(第37号~41号)発行いたしました。

#### ★定例会★

2005年8月12日(金) 10月7日(金) 12月3日(土)

2006年2月3日(金) 6月2日(金)の5回開きました。

#### ★会員数推移★

入会者は3名、退会者は4名で、6月24日現在の会員数は49名です。

#### 2005年度会計報告書

呑川の会 2005年度会計報告 (2005/6/25~2006/6/24)					
(収入)			(支出)		
会費		97,000	通信費	切手・ハガキ類	58,970
参加費	行事参加費その	21,000	会報費	用紙・封筒など	12,144
礼金	他	12,600	会場費	使用料	3,000
寄付		7,922	行事費	実行費用	6,104
援助金		0	礼金	講師謝礼など	19,000
呑川テキスト	呑川は流れる	3,000	雑費		1,013
利子		0	呑川テキスト その他		5,796 0
前年度繰越		201,031	次年度繰越		236,526
	(今年度合計)	342,553		(今年度合計)	342,553
			次年度繰越内訳	現金	25,780
				預金通帳	135,526
				郵便振替通帳	75,220
				(合計)	236,526
		2006年6月24日			

		上記の通り報告します 会計担当	高橋 光夫 ㊟
		2006年6月24日	
		上記の通り相違ありません	
		会計監査	白石 琇朗 ㊟

## 2006年度(2006.6~2007.6)活動計画

### ◆ 提言活動

「呑川河川改修整備計画」への対応(検討会実施を含む):担当 福井

### ◆ウォーキング

河川ウォーキング 野川 ハケの道付近 06年11月25日(土) 引率:大坪

花見ウォーキング 野川 野川公園付近 07年3月31日(土) 引率:白石

### ◆ 学習活動

水の循環についての勉強:森ヶ崎水再生センターの見学と旧呑川・呑川河口周辺ウォーキング

### ◆ 広報・PR活動

呑川案内ビデオ・スライド作成

小学生向け呑川ウォーキング手引き書の作成

呑川HPの継続:現在のHPを発展的に継続し、会員や多くの皆様の閲覧、利用、参加に役立つ内容にして行きたいと考えております。

呑川自主講座:大田区社教との連携も含め2ないし3日の内容で実施します。

エコフェスタワンダーランドへの参加を予定しています。

文化の森 収穫祭の展示コーナーへの出展を予定しています。月日は、11月1~4日です。

### ◆小学生親子に対する働きかけ

夏休み呑川親子ウォーキング:7月23日(日)及び8月27日(日)

### ◆会ニュース発行 4回

### ◆ 定例会 (末尾に具体的な開催予定月日を掲載します)

開催月日は、原則として偶数月の第一土曜日午後2時からと第一金曜日午後6時半からを交互に開催します。場所は池上文化センターとし、予約できない時は適宜変更します。

### ◆その他「呑川樹木マップの作成」担当 白石・工藤

## 雪谷小学校呑川ウォーキングに参画して

福井 甫

雪谷小学校(以下雪小という)から呑川の会に総合学習の一部として呑川ウォーキングを実施したいので、協力してもらえないかという話があった。これまで大坪代表に対する個人的な話はあるも呑川の会に対するものは初めてである。

事前に担当の先生方と打合せを行い、実際のウォーキングは5月31日。対象は4年生、約120名で、子どもたちの呑川への関心により、生き物班二班、ゴミ・水質班一班、植物・水の深さ・水流の変化班一班と3クラスの子どもたちを四班に編成し、各班30名前後とした。呑川の会からは大坪、高橋、白石、福井の4名が説明役として参加した。また安全面を配慮し各班に4名の保護者が配置された。

当日は体育館で呑川の歴史と概要の説明をして、出発。雪小からJR蒲田駅まで全長約5kmのコースを要所々々で説明をしながら約2時間半で歩く。途中道々橋近くの下水道横断箇所「魚キラー」を当日朝仕掛けておいたら、ハゼの稚魚が50匹前後入っていた。子どもたちは呑川にも魚が実際にいることが体験できたと思う。

雪小の子どもたちにとって呑川は学校の隣りを流れる一番身近な自然。しかし普段は水の流れも少なく、雪谷地区ではさかなも見られず、カルガモがときどき見られるぐらいでほとんど一年中変化がない。そのような呑川に関心を持ってもらうのは無理な話だろう。大部分の子どもたちは呑川についての知識は乏しいように思った。

だからこそ私たちはそんな呑川でも道々橋から下流側ではいぜ、コイ、ボラ、ウナギなどの魚、鳥もカルガモだけでなく、コサギ、カワウ、コガモやその他の鴨類が見られ、呑川もまんざら捨てたものではないこと、そして私たちは呑川を植物を含めもっと自然豊かで、人々に親しまれる川にするため活動していることを伝えようとした。

どこまで子どもたちにアピールできたか自信はないが、あとで子どもたちが書いてくれた礼状——礼状という性質上子どもたちが気を配って書いてくれているのは当然だが——を読むとまんざら空振りではなかったように思う。しかし改善すべき点もあるので、それらを踏まえ、子どもたちに説得力のある呑川ウォーキング・学習の手引きをつくるのが今後の課題だろう。

前述したとおり子どもたちが全員礼状を書いたかったので、そのいくつかを紹介する。



F 先生 呑川たんけん楽しかったです。雪谷小学校からかま田まででいろんな呑川のことをしました。特にしたことは、呑川にいろいろな生き物がいることです。その生き物はいぜ カメ、魚、カモ、金魚です。ぼくはまだまだ呑川のことをしりません。自分で本とかを見て呑川のことを調べたいです。(Y.K)

F 先生 呑川たんけんの時、あんないしてくれて、ありがとうございます。けっこうつかれたけど、F 先生に呑川の事を教えてもらいました。ぼくがおどろいた事ばかりでした。とっでもたいへんだったけど楽しかったです。どうもありがとうございます。(K.T)

F さんへ 5月31日の、のみ川たんけんの時、ありがとうございます。のみ川の事がよくわかりました。すごくいい勉強になりました。とても楽しかったです。わたしは5kmぐらい歩くのはらくだと思ってたけど、つらかったです。けどがっこうについたら「まだ歩ける！」と思いました。でも本当に楽しかったです。ありがとうございます。(R.S)

S 先生 5月31日は、色々教えてくれてありがとうございます。そのおかげで呑川の事がよくわかりました。とくに、船から空気が出る事や、昔と今のちがい、水の事などがよくわかりました。5キロも歩いたのは、たいへんだったけど、呑川の事がよく分かったし、魚やかめ、めずらしい鳥も見れたのでよかったですと思っています。それに今では、「もっと調りたいな」と思っています。(M.I)

S 先生へ 西ノ橋からかま田まで呑川のことを教えてもらいよくわかりました。船の形をして呑川に空気を入れていた物は、はじめて見たので空気を入れるなんてしりませんでした。おお雨がふって魚が流されないようにくふうをしているとしりました。つかれたと思いました

が私は、楽しかったです。なみ木の数もわかりました。(KK)

S先生へ 呑川の事をいろいろ教えてくれてありがとうございました。呑川の会の先生達は呑川の事をすごくいろいろ知ってびっくりしました。心にのこった事は、とちゅうで魚の入ったカゴをひきあげて見せてくれた事です。その下には、たきがあってびっくりしました。私は、雪谷からかま田まで歩いて思ったよりもとっても楽しかったです。(KN)

T先生へ ぼくはハゼの仲間をみたときびっくりしました。すう時間で8ぴきぐらいとれたからです。ぼくはハゼのほかにもいろいろな魚がいると思うので、もっといろいろな魚を発見して呑川をもっと知りたくなりました。T先生は一つ一つこまかく教えてくれてありがとうございました。 4年3組 I君

Tせんせい 私は呑川が大昔からあるということは知りませんでした。小さな穴があって私はいつも「何だろう」と思っていました。でも先生が教えてくれてやっとわかりました。それから呑川にはどうして生き物がいないのかな?と思っていました。それはだんがあって上ることができないから生き物がいないのわかりました。先生のおかげでいろいろなことがわかりました。もっと呑川がきれいになるといいです。 4年3組 Nさん

O先生へ くわしい説明をしてくれてありがとうございました。ぼくは、蒲田辺りは海の水が入ってくると知っていましたが、実際に探検してみて、池上まで海の水が入って来るとは思いませんでした。そしてゴミが上流から下ってきて止まってしまうとあれだけ水がにごってしまうのだなと思いました。これからも呑川をもっとたいせつにしなければいけないと思いました。 4年3組 K君

Oせんせい こないだは呑川を案内してくれてありがとうございました。私はコサギとハクセキレイを初めて見れたのでうれしかったです。先生から昔は飲めるほど呑川の水はきれいだったと聞いて、私は昔の呑川の水を飲みたくなりました。~中略~これからも呑川についてもっと知りたいです。 Kさん

こうもりとかツバメがくるのはなんでだろう?と?思っていてやっとわかりました。ゆずりかがないこう物なのですね。(4-2 U・I)

ぼくが一番楽しかったのはしかけにハゼが入っていてハゼをさわれたことです。(4-2 I・M) 海の水がのみ川の池上ぐらいまで流れているなんてびっくりしました(4-3 O・M)

一番勉強になった事は、呑川にコンクリートではなく、土の場所があるという事です(4-1 M・M)



うなぎ3匹! 呑川生き物調査に参加して

福井 甫



5月30日春の環境保全課呑川生き物調査があり、呑川の会からは高橋さんと福井が参加した。環境保全課も定員が削減されたとかで調査者は減り、それだけ調査は狭められることになる。

第二京浜国道が横断する池上橋の1つ上流側の北之橋で呑川へ降り、そこから上流側へタモ、一種の定置網、投網で調査。投網は大きな魚を狙ったが残念ながらゼロ。神田川には鮎が遡上しているというが。

しかし北之橋の直下でウギの稚魚が3匹タモに入る。環境保全課の稲葉さんの話では去年道々橋付近でウギ見たとのことなので、呑川にウギがいるのは間違いない。いつの日か道々橋付近で「呑川名物 天然ウナ重」ののぼりが見られるのを期待したいが……

また稚魚が遡上しているときにぶつかったのか、ハゼ、コイ科の稚魚が多数とれた。ボウの稚魚がいたかは不明。ハゼはマゼではないかと思われるが稚魚図鑑がないので完全な同定はできない。背びれの数からコイ科の魚は間違いないと思うがこれも完全な同定はできない。誰か稚魚の同定ができる専門家をご存じないですか。本来は大田区でできるのが望ましいが、最低そのような専門家のリストだけでも区で整備できないだろうか。



## 昨年度の呑川のゴミ

福井 甫

単位：立方メートル

昨年度 呑川で回収したゴミの量がわかりましたので、報告します。(まちづくり課調べ)  
16年度の61.6に対し、17年度は40.7で10.9減少。16年度は6月、7月が異常に多くその期間を除けば変化はあまりない。ゴミの減少は、ゴミ回収費用の削減になるのだが、今はそれは都の利益で、大田区の利益にはならないようだ。逆にゴミ量が増えた場合は都の負担増になる。東京都の川は普通複数区にまたがって流れており、回収する下流区の負担にするのは公平でないためだろう。呑川のゴミは大田区発生、大田区回収だが、上流で発生したものは中流域でも人目にふれ下流域に集まる。上流域ほどゴミが呑川に入ることに注意したいと思う。

## 野鳥勉強会に参加して

高橋 光夫

春の渡り鳥シーズンに合わせ、「東京港野鳥公園」で野鳥勉強会が開かれた。案内は、この公園で活躍するグリーンボランティアの田中良平さんと、サポート役の桜井さん。干潟にやってくるシギやチドリの仲間を観察するため、干潮になって干潟が現れる15時からの観察でした。

(前浜干潟で説明を受ける一行)

まずは普段は入ることの出来ない野鳥保護区である「前浜干潟」に向かいます。さっそく干潟のむこうにチュウシャクシギが見えましたが、我々が近づくと飛び去ってしまいました。カンムリカツブリもいましたが、一番多かったのはキョウジョシギで、群れをなして磯の岩場にいました。京女とも狂女とも言われるこのシギは、とても美しい模様で我々を魅了しました。

(キョウジョシギの群れ)

磯の岩をひっくり返すと、小さなカニがたくさん、ケフサイソガニです。あまりにもたくさんいて、みんなビックリでした。小さなコメツキガニがいましたが、そのそばにはキョウジョシギの足跡・・・シギたちがカニたちを食べているのが想像されます。崖になっているところには、クリベンケイガニが見つかりました。野鳥やカニばかりではありません。浜には浜特有の植物にも出会いました。(視聴覚室で野鳥よもやま話をする田中さん)

ハマダイコンの実をかじったり、カジイチゴを食べてみたり、野生植物の独特の味にも触れました。観察が終わって、田中良平さんの話を聞きました。野鳥の思わぬ裏話を聞いて、楽しい時間を過ごしました。呑川にも野鳥が沢山





やってくるというですね。

## ついに写真撮影に成功! 呑川のカワセミ

高橋 光夫

呑川にカワセミが来ている情報は、昨年来から聞いていましたが、なかなか見あたりません。ところが今年は、時々見かけるようになりました。そしてようやくカメラに収めることが出来ました。これは長栄橋付近で見かけたものです。手前の大きな石の上にちょこんと止まっています。僕の200mmレンズでは、これ以上大きく撮れません。何枚か撮りましたが、その中で比較的良いものを、部分を切り取って、拡大して見てみます。デジタルデータは、こんな時本当に便利です。さすがにカワセミはきれいですね。呑川にこんな鳥が来ていると思うとうれしくなります。カワセミが来る環境の基本に、魚がいる、しかもそれはコイのような大きい魚でなく小魚がいなければなりません。今年の生物調査で、ちょうどこのカワセミがいた地域、北の橋～長栄橋付近ではこんな小魚がたくさん見つかりました。網を差し入れると、ビックリするほどの稚魚が掛かります。これはマルタと思われます。また未改修地域でもカワセミは時々見かけます。ただカワセミがとまるような枝や、少し背の高い石が無く、砂利は沢山あるのですが、なかなか見つけにくく、写真にはなかなか撮れません。でもこの場所には、小魚がたくさん泳いでいます。二重に見えるのは、太陽の光で魚の影が川底に写っているためです。これは、福井さんが時々



仕掛けで捕らえる結果からすると、マハゼまたはヨシノボリかも知れません。こうしてカワセミのいる場所には、小魚が沢山いることが判りました。またカワセミを撮ろうと思って追いかけると、この未改修地域の方に逃げるのを見ます。どうも呑川のカワセミは、未改修地域を根城にしているのではないかと想像されます。カワセミは切り立った崖に穴を開け、そこに巣を作ります。ヘビやネズミにねら



われないようにするためです。うまいことに呑川は、直立の護岸で、ヘビもネズミも簡単には上ることは出来ません。そしてそもそも、ネズミはいるかも知れませんが、ヘビはきっといないでしょう。カワセミの巣場所として、呑川は実に都合の良い場所かも知れませんが、未改修地域の護岸は、あちこちに穴が空き、そこから水がこぼれ落ちたり、木や草がたくさん生えています。こういうところが、我々の目には付かないけれど、カワセミの営巣場所になっていないでしょうか。今度の改修計画にも、カワセミが棲めるような改修を! というのも大きなテーマになるのではないかと考えています。下手をすれば、カワセミを追い出してしまうのではないかと危惧します。「ボラののぼる呑川」「カワセミの棲む呑川」・・・それは、呑川の大きな魅力となるでしょう。ただこのことを現段階では、まだ大きくはアピールしたくないと思っています。それはカメラマンがたくさん集まり、カワセミに脅威を与えてしまうからです。洗足池にカワセミが来ることは有名です。普段でも10数人のカメラが三脚を立

ています。土曜・日曜は、おそらく100人を超えているでしょう。2年くらい前に、あちらにも、こちらにも沢山いた洗足池のカワセミも、いまやほとんど1カ所に1羽しかいないことが多くなりました。バードウォッチャーというのは、その行動力と好奇心は旺盛で、なにか珍



しい鳥が見られるという情報を得ると、この前は休園日の月曜の野鳥公園に、朝から300人ほどが集まり、門を開けると大騒ぎになりました。呑川のカワセミもカメラを向けると、遠いところからも敏感に反応し、逃げます。なるべく脅威を与えないように、静かに見守り、撮影をしたいと思っています。そうでないと、営巣場所を放棄することは、しばしばあることです。そして、十分この呑川に居着いていることが判ったとき、公表するのがいいのかなあ・・・と、思ったりしています。呑川の改修計画に向けて、ていねいに見ながらも、この秋の都の発表に向けて、急がなくてはならないのを感じています。そして改修は、生物的側面だけでなく、この地域の文化的・歴史的側面からも、景観的側面からも、人々と川という親水的側面からも、また洗足流れがこの場所に注ぎ込むという地理的側面からも、多方面からそれぞれの人の関心がある分野を検討する必要があると思います。今はなるべく多くの方が問題提起を行い、それらを土台に都の発表に向けた準備をする段階と考えています。まずはどうぞカワセミの美しい姿を実感してみてください。

#### ★定例会のお知らせ(6/24日 総会記事参照)

2006年度(向こう一年間)の定例会開催日を下記の通り予定しています。

定例会は、会員ならどなたでも参加でき、発言していただけます。

会員の皆様、是非定例会に出席してお考えや思いを代表や世話人にお話ください。

- 2006年8月25日(金)午後6:30～ または26日(土)午後2時から
- 2006年10月6日(金)午後6:30
- 2006年12月2日(土)午後2時
- 2007年2月2日(金)午後6:30
- 2007年4月7日(土)午後2時
- 2007年6月1日(金)午後6:30

場所は、いずれも池上文化センター会議室ですが、変更の時は別途お知らせいたします。

#### < 編集後記 >

寄稿者から送信されてきた原稿をパソコンに取り込み、編集中に、高橋さんからビッグニュースがメールで飛び込んできました。私としては、中田選手の引退発表以上のビックリでビッグニュースです。2年程前、私も、その頃毎日のように通っていた根方橋から呑川のカワセミを肉眼で見ました・・・と思います。と言うのも、年々視力が衰えて、見間違えたので・・・と思ったからです。そのことを呑川の会の皆様に報告し何とかカワセミを発見し、そして写真に撮影してカワセミが呑川に生息していることを証明ましようと呼びかけていたからです。そして今日それが実現できたのです。なんと嬉しいことでしょう!高橋さんほんとうにありがとう!そしてご苦労さん!(工藤 記)